

# 協働通信

## 都留の市民の活動

今回は、『いきいのひろば』の企画・運営を支援する学生団体、「I-KI(アイ・ケー・アイ)」代表の都留文科大初等教育学科3年生の岩下翔平さんにお話を伺いました。



■岩下 翔平さん

『いきいのひろば』とは、「障がいの有無に関係なく、地域に住む人たちがみんなが楽しく充実して過ごせる地域づくり」を目指し、学生だけではなく、地域に住む方々と1カ月に1度、イベントなどを定期的に行うことを目的とした活動のことです。私たち学生サークルの「I-KI」が中心となって、その企画・運営を支援しています。

▽都留市まちづくり市民活動支援センター  
都留市中央3-8-1  
都留市まちづくり交流センター(旧文化会館)1階  
▽開館 火～日(祝日除) 8:30～17:15  
▽問合せ mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp ☎(43)1321 FAX (43)1322 ※4月1日から移転しました。

「いきいのひろば」は、そもそも、都留文科大内にあるいくつかの学生のボランティアサークルや個人、大学の教職員、社会福祉協議会職員、地域の方々が集まり、定期的に開催する「文大ボランティアひろば」だれでもどうぞ」の中で、福祉施設の職員の方から「障害のある方が学生や市民と交流できる機会をつくってほしい」との声があげられたことが始まりでした。2010年10月から活動を開始し、今年の10月で4周年を迎えます。

活動としては、8月と3月を除き、月に1回、いきいきプラザなどの施設で地域交流のひろばを開催しています。私たちは、その準備のため、週に1回、水曜日の夜にミーティングを開いています。当日のプログラムは、全体プログラムとクラブ活動の2つがあり、全体プログラムでは、夏祭りやクリスマス会、1日バス旅行などを行います。全体プログラムの企画は、参加者が楽しんでもらえるように、前年と同じにならないように工夫をしています。

たとえば、クリスマス会などでは、ケーキの種類を変えたり、違う企画やゲームを取り入れたり、参加者からも希望を聞いて参考にしています。クラブ活動では、演劇やおかしづくりなどの自分たちの興味や関心のある文化的活動を行う文化クラブと、卓球やボーリングなど心と体の健康につながる活動を行うスポーツ&レクリエーションクラブの二つに分かれて年間を通して同

じ顔ぶれで活動をしています。これまで、学生や市民の方々が様々な意見を出し合い、企画を実施してきました。企画を実現できるかできないかを考えるのではなく、実現させるためにはどうしたらいいかを考えてきました。当日が無事に成功に終わり、参加者に喜んでいただくことが嬉しく、私たちは、これからも、その声に応えていきたいと思っています。

この記事を読んで興味を持たれた方は、都留市社会福祉協議会(☎(46)5115)または、まちづくり市民活動支援センターまで声を掛けていただければと思います。私たちと一緒に活動してくださる方、大歓迎です。よろしくお願ひします。



■活動の様子

## 地域のお知らせ

### 谷村地域

#### 第95回・夢実現ひろば

「エコバッグ作り」を行います。一般参加も可能です。皆さんの参加をお待ちしています。

日時 8月22日(木)13時30分～16時

場所 都留市まちづくり交流センター4階大ホール

問合せ ☎(45)3225(鈴木)

### 開地地域

#### 第3回開地地域ふれあい集会を開催します!

大人から子どもまで参加し、魚のつかみどりの体験や魚のさばき方を実習します。地域の皆さんはぜひ、ご参加ください。

日時 8月25日(日)11時～

場所 すげのレジヤ

問合せ ☎(43)7593(荻窪・開地地域協働のまちづくり推進会)

### 東桂地域

#### 第9回都留市ジャパンジュニアグラススキー大会にぜひお越しください!

東桂地域では、グラススキー大会への協力として、そば打ち愛好会による『ざるそば』や食生活改善推進委員による『豚汁』を振る舞います。市民の皆さんのご来場をお待ちしています。

日時 8月17日(土)～18日(日)

9時15分～

場所 サンパーク都留グラススキー場